

公益財団法人日米医学医療交流財団 留学助成

研修報告書 （２０２５年度 助成者）

作成日 2025 年 9 月 9 日

氏名（フリガナ）	中野佑香（ナカノユウカ）
研修先機関名	Hawaii Tokai International College
研修期間	2025年8月4日（月）～8月9日（土）
大学名 学年	慶應義塾大学 5
<p>このたびはハワイ大学における医学英語夏期集中研修プログラムに参加させていただき、誠にありがとうございました。</p> <p>今回の研修では、PBL やケースプレゼンテーションを英語で行う機会を通じて、医学英語での実践的な表現力を高めることができました。特に、自分の意見や考えを簡潔に英語で伝える難しさと重要性を強く実感しました。同時に、他の参加者や指導医のアドバイスを聞く中で、論理的な構成やわかりやすい説明の仕方など、多くの学びを得ることができました。</p> <p>また、現地で診療に従事されている複数の医師から直接お話を伺う機会がありました。それぞれが異なる背景を持ちながら、患者一人ひとりの文化的・社会的背景を尊重した医療を実践している姿に触れ、グローバルな視点で医療に携わるとはどういうことかを考える大きなきっかけとなりました。日本にいただけでは気づきにくい課題や心構えを学ぶことができ、自身の将来像をより具体的に描く助けとなりました。</p> <p>また、同年代の様々な大学の医学生と非常に仲良くなり、繋がりを作ることができました。普段、なかなか機会のない交流を通じて、それぞれが抱える悩みや目標を共有したことは大きな刺激となり、将来の夢を大きく持つ励みになりました。</p> <p>ハワイという多文化社会の中で、異なる文化を背景とする患者さんの話を聞き、医療従事者と関わる体験は、将来的に遺伝性疾患を専門とし国際的に連携していくことを目指す私にとって、大変貴重な学びとなりました。診療における文化的な配慮、個々の患者の生活背景や文化的背景を深く理解しようとする姿勢、そして患者やその家族との信頼関係を築くためのコミュニケーションの取り方など、多岐にわたる貴重な知見を得ました。本研修を通じて得られた経験を、今後の学びや臨床実習に活かしてまいります。</p> <p>最後になりましたが、本助成事業を通じてこのような貴重な機会をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。また、本プログラムを支援くださった小玉正智先生に深く御礼申し上げます。</p>	